

ダーウィンコア・クイックリファレンスガイド

第 1.3 版

2011 年 4 月

引用時の記載方法：

GBIF (2010). Darwin Core Quick Reference Guide, version 1.3, released on 10 Mar 2012, (contributed by Wiczorek, J., De Giovanni, R., Vieglais, D. Remsen D.P., Döring, M, Robertson, T.), copenhagen: Global Biodiversity Information Facility, 41 pp,.

ISBN : 87-92020-20-8

URL : http://links.gbif.org/gbif_dwc-a_guide_en_v1.1

言語 : 英語

著作権 © Global Biodiversity Information Facility, 2010

ライセンス :

本稿は[Creative Commons Attribution 3.0 Unported License](https://creativecommons.org/licenses/by/3.0/)の下で認可されている。

文書管理 :

バージョン	説明	リリース日	著者
1.0	初稿リリース	2010年4月17日	ジョン・ウィズレック (MVZ)、マルクス・デーリン (GBIF)、レナート・デ・ジョヴァンニ (CRIA)、ティム・ロバートソン (GBIF)、デイブ・ヴィグレス (KUNHM)
1.1	ジョン・タンによって作成された 拡大版 (2010年1月)へのアップデート	2010年5月28日	ジョン・ウィズレック (MVZ)、マルクス・デーリン (GBIF)、レナート・デ・ジョヴァンニ (CRIA)、ティム・ロバートソン (GBIF)、デイブ・ヴィグレス (KUNHM)
1.2	形式の修正と確認	2011年4月1日	DPR
1.3	新規用語を追加	2012年3月9日	DPR

識別子 : <http://rs.tdwg.org/dwc/2009-12-07/terms/>

TDWG規格の一部 : <http://www.tdwg.org/standards/450/>

GBIF問い合わせ先 : 文書の再フォーマットおよび翻訳はDavid Remsen (dremsen@gbif.org)が担当した。

表示デザイン : グレゴリー・バスコ、

フタユビナマケモノ (Choloepus didactylus)

免責事項 : 本文書は、分類学データベースワーキンググループによって発行された標準的な規約、著作権、ライセンスに関する条項および免責事項によって管理される。

GBIF について

地球規模生物多様性情報機構（GBIF）は、21 世紀の大きな課題の一つである、地球上の生物多様性に関する知と知をつなげることを目的とし、世界的なメガサイエンスの牽引者として設立された。GBIFが描く世界とは「生物多様性に関する情報を、科学、社会、持続可能な未来のために自由かつ普遍的に利用できる」場である。GBIFの使命は、生物多様性に関する情報を世界的な資源とすること、また、環境および人間の幸福のために賢明なソリューションを生み出すことである¹。これらの使命を達成するため、GBIFでは、世界中の多種多様な分野におけるデータ公開者がこのネットワークを介してデータを検索し、公開することを奨励する。

目次

はじめに	1
カテゴリー	2
記録レベル用語（ダブリンコア）	3
記録レベル用語（ダーウィンコア）	5
出現クラス	7
イベントクラス	10
位置クラス	12
地質コンテキストクラス	18
識別クラス	20
分類群クラス	22
補足事項 - リソースとの関連性	26
補足事項 - 測定または事実	27
用語	29
記録レベル用語	29
dcterms	29
出現	29
イベント	29
dcterms : 位置	29
地質学的コンテキスト	30
識別子	30
分類群	30
補足事項	30
リソースの関連性	30
測定または事実	30
参照文献	31

はじめに

ダーウィンコアは標準規格の基幹をなし、各項目の定義、例、および評価を提供することによって生物多様性に関する情報の共有を容易にすることを目的とする用語集（別のコンテキストでは、性質、要素、フィールド、列、属性、または概念と呼ばれるもの）を包含している。ダーウィンコアは観察、標本、およびサンプリングによって文書化された自然界での出現、分類、およびそれらに関連する情報に基づいている²。

用語は各セクションの冒頭に示したカテゴリ別に編成されている。これらのカテゴリは、クラス（それらを記述するために別の言葉で説明した用語）別に分類されたダーウィンコア用語に対応している。特定のクラスに関する用語（クラス属性）は、目次内のカテゴリ名の下に記載したリストに表示されている。

それぞれの用語には、下記の要素に関する情報が記載されている。

タイトル；用語自体の短縮名

バージョン；バージョン情報を含む完全な識別子

上位クラス；その用語が属するカテゴリ（またはクラス）の名称

説明；用語の説明

例；用語使用時の例

正式な修飾名称；ダーウィンコア記述ファイルで使用される用語の正式名称

カテゴリー

これらのカテゴリーは、記録レベル用語によって記述された情報クラスである。記録レベル用語の説明は、以下のページを参照のこと。

<u>出現</u>	自然内、コレクション内、またはデータセット内（標本、観察など）における種の出現の証拠に関連する情報カテゴリー。
<u>イベント</u>	イベント（ある場所およびある期間に発生する行動）に関連する情報カテゴリー。
<u>Dcterms : 位置情報</u>	空間領域または場所の名称。地名が付与されている、されていないにかかわらず、場所を記述した一連の用語。
<u>地質学的 コンテキスト</u>	層序など地質学的コンテキスト内での位置に関する情報カテゴリー。
<u>識別子</u>	分類学的決定に関する情報カテゴリー（学名の割り当て）。
<u>分類群</u>	分類学上の名前、分類群名の使用法、または分類群の概念に関連する情報カテゴリー。
<u>リソースの 関連性</u>	リソース（出現、分類群、場所、イベントなど、データ記録例）同士の関連性に関する情報カテゴリー。資源は、識別可能な記録と考えることができ、出現、場所、イベント、識別子、または分類群記録を含む可能性があるが、これに限定されるものでない。
<u>測定または 事実</u>	リソース（出現、分類群、場所、イベントなどのデータ記録例）についての測定、事実、特性、または断定に関連する情報カテゴリー。

記録レベル用語（ダブリンコア）

dctermsで始まる名前は、**ダブリンコア・メタデータ・イニチアティブ[DCMI]**によって管理された用語であり、ここで再生成されたものである。ここには、生物多様性コミュニティーに適用される説明およびコメントが含まれている可能性がある。これらの用語の本来の定義は、各用語の**詳細**セクションに記載されたリンクから確認できる。

タイプ	<p>リソースの性質またはジャンル。ダーウィンコア使用時は、記録元を定義する分類名を使用することが強く推奨される。</p> <p>例：「静止画像」、「動画」、「音声」、「実物」、「イベント」</p> <p>バージョン：http://dublincore.org/documents/dcmi-terms/#terms-type</p> <p>http://purl.org/dc/terms/type</p>
修正	<p>リソースが変更された最新の日付/時間。ダーウィンコア使用時は、ISO 8601:2004 (E) などで見られる符号化方式を使用することが強く推奨される。</p> <p>例：「1963-03-08T14:07-0600」（1963年3月8日2:07pm 協定世界時 (UTC) より6時間早く）、「2009-02-20T08:40Z」（2009年2月20日8:40am 協定世界時）、「1809-02-12」（1809年2月12日）、「1906-06」（1906年6月）、「1971」（1971年）、「2007-03-01T13:00:00Z/2008-05-11T15:30:00Z」（2007年3月1日1pm 協定世界時～2008年5月11日3:30pm 協定世界時の間）、「2007-11-13/15」（2007年11月13日～2007年11月15日の間）。</p> <p>バージョン：http://dublincore.org/documents/dcmi-terms/#terms-modified</p> <p>http://purl.org/dc/terms/modified</p>
言語	<p>リソースの言語。RFC 4646 [RFC4646]など、統制語彙を使用することが強く推奨される。</p> <p>例：「en」（英語）、「es」（スペイン語）</p> <p>バージョン：http://dublincore.org/documents/dcmi-terms/#terms-language</p> <p>http://purl.org/dc/terms/language</p>
権利	<p>リソース内およびリソース上で保持される権利に関する情報。一般的に、権利情報は、知的所有権等のリソースに関連する様々な財産権についての文言が含まれている。</p> <p>例：「本内容は Creative Commons Attribution 3.0 United States License の下でライセンスされている」</p> <p>バージョン：http://dublincore.org/documents/dcmi-terms/#terms-rights</p> <p>http://purl.org/dc/terms/rights</p>
権利者	<p>リソース上で権利を所有するか、または管理する個人または組織。例：「カリフォルニア大学理事」</p> <p>バージョン：http://dublincore.org/documents/dcmi-terms/#termsrightsHolder</p> <p>http://purl.org/dc/terms/rightsHolder</p>
アクセス権	<p>リソースまたはそのセキュリティーステータスの表示にアクセスできるユーザー情報。アクセス権には、プライバシー、セキュリティー、または他のポリシーに基づくアクセスまたは制限に関する情報が含まれている可能性がある。</p> <p>例：「非営利目的の利用のみ」</p> <p>バージョン：http://dublincore.org/documents/dcmi-terms/#termsaccessRights</p> <p>http://purl.org/dc/terms/accessRights</p>
書誌参照	<p>引用する場合、該当記録がどのように引用（帰属）されるべきかを示す、リソースの書誌情報。可能な限り明確にリソースを識別するため、十分に詳細な書誌情報を含めることが強く推奨される。</p> <p>例：「<i>Ctenomys sociabilis</i> (MVZ 165861)」（標本）、「Oliver P. Pearson. 1985. Los tuco-tucos (genera <i>Ctenomys</i>) de los Parques Nacionales Lanin y Nahuel Huapi, Argentina <i>Historia Natural</i>, 5(37):337-343.」（分類群）</p> <p>バージョン：http://dublincore.org/documents/dcmi-terms/#</p>

	<u>termsbibliographicCitation</u> http://purl.org/dc/terms/bibliographicCitation
参照文献	参照または引用された関連文献、または記述されたリソースで示された関連文献 例: " http://mvzarctos.berkeley.edu/guid/MVZ:Mamm:165861 "; " http://www.catalogueoflife.org/annualchecklist/show_species_details.php??record_id=6197868 " 詳細は http://code.google.com/p/darwincore/wiki/RecordLevelTerms を参照のこと。 バージョン: http://dublincore.org/documents/dcmi-terms/#terms-references http://purl.org/dc/terms/references

記録レベル用語（ダーウィンコア）

記録レベル用語セクション欄の用語は、記録タイプに関係なく全ての記録に適用される。例えば、カメラで捉えた鳥の目撃情報に関する記録は、ダブリンコア **dcterms:type (タイプ)** カテゴリーの「**静止画像**」に分類され、ダーウィンコア **basisOfRecord (記録の基礎)** カテゴリーでは、**出現**の特定タイプである「**機械観測**」に分類される。つまり、**dcterms:type (タイプ)** の値は「静止画像」、**basisOfRecord (記録の基礎)** の値はどのような確認記録かを示す「機械観測」となる。記録レベル用語の残りはすべて、**出現**記録に適用される。

機関 ID	記録内で参照される個体または情報の親権を持つ機関の識別子。 バージョン: institutionID-2009-09-11 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/institutionID
コレクション ID	記録元となったデータベースまたはコレクションの識別子。物理的な標本については、生物多様性コレクション索引 (http://www.biodiversitycollectionsindex.org/) などに示されたコレクション登録内の識別子を使用することが強く推奨される。 例: "urn:lsid:biocol.org:col:34818" バージョン: collectionID-2009-09-11 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/collectionID
データセット ID	データセットの識別子。汎用的な固有識別子、または、コレクションあるいは機関の固有識別子のいずれかである可能性がある。 バージョン: datasetID-2009-09-11 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/datasetID
機関コード	記録内で参照される情報または個体の親権を持つ機関で使用されている名称（または頭字語）。 例: 「MVZ」、「FMNH」、「AKN-CLO」、「カリフォルニア大学古生物学博物館 (UCMP)」 バージョン: institutionCode-2009-09-11 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/institutionCode
コレクションコード	記録元のデータセットまたはコレクションを識別する、名称、頭字語、コード、または頭文字。 例: 「Mammals (哺乳類)」、「Hildebrandt (ヒルデブランツ)」、「eBird」 バージョン: collectionCode-2009-09-11 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/collectionCode
データセット名	記録元のデータセットを識別する名称。 例: 「Grinnell Resurvey Mammals」、「Lacey Ctenomys Recaptures」 バージョン: datasetName-2009-09-11 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/datasetName
所有者機関コード	記録内で参照される個体または情報の所有権を持つ機関で使用されている名称（または頭字語）。 例: 「NPS」、「APN」、「InBio」 バージョン: ownerInstitutionCode-2009-08-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/ownerInstitutionCode
記録の基礎	データ記録固有の性質。dcterms:typeのサブタイプ。ダーウィンコアタイプ用語集 (http://rs.tdwg.org/dwc/terms/typevocabulary/index.htm) などで記載されている統制語彙を使用することが強く推奨される。 例: 「保存標本」、「化石標本」、「生体標本」、「人間による観察」、「機械観測」 バージョン: basisOfRecord-2009-12-07 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/basisOfRecord
追記情報	存在するが、当該記録内で共有されていない追加情報。

	<p>例: 「絶滅危惧種に確認されていない位置情報」、「収集者は保留と判断する」、「組織サンプルについて問い合わせること」</p> <p>バージョン: <code>informationWithheld-2009-04-24</code></p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/informationWithheld</p>
データの一般化	<p>原著の形式と比較して、共有データが非特定のまたは不完全と考えられる行動。要請に応じて、より高品質の代替データを利用可能であることを示唆している。</p> <p>例: 「原著の GPS から一般化された座標は、最も近いグリッドセルの半分のところに座標」</p> <p>バージョン: <code>dataGeneralizations-2009-04-24</code></p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/dataGeneralizations</p>
ダイナミック・プロパティ	<p>記録に関する追加の測定、事実、特性、または判断に関するリスト（連結および分離されたもの）。キー・バリュー・ペアなど、構造化された内容のメカニズムを提供することを意図している。</p> <p>例: 「耳珠の長さ (m) =0.014; 重量 (g) =120」、「身長 (m) =1.5」、「識別法= 専門家による識別; 識別の証拠=チトクローム B 配列」、「相对湿度=28; 気温 (°C) =22; サンプルサイズ (kg) =10」、「アスペクト・ヘディング (aspectHeading) =277; 傾斜 (度) =6」、「状態 (iucnStatus) =傷つきやすい; 分類上の分布=アルゼンチン・ネウケン州」</p> <p>バージョン: <code>dynamicProperties-2009-04-24</code></p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/dynamicProperties</p>

出現クラス

自然内、コレクション内、またはデータセット内（標本、観察など）における種の出現の証拠に関連する情報カテゴリー。

出現 ID	<p>出現の識別子（出現に関する特定のデジタル記録ではない）。永続的で汎用的な固有識別子がない場合には、記録内から最も緊密で世界的に固有である出現 ID の識別子を組み合わせて作成する。</p> <p>普遍的な善意の固有識別子がない状態の標本については、例えば以下の形式を使用する：</p> <p>urn:catalog:[機関コード]:[コレクションコード]:[カタログ番号].</p> <p>例: "urn:lsid:nhm.ku.edu:Herps:32", "urn:catalog:FMNH:Mammal:145732"</p> <p>バージョン: occurrenceID-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/occurrenceID</p>
カタログ番号	<p>データセットまたはコレクション内の記録の識別子（固有であることが好ましい）。</p> <p>例: 「2008.1334」、「145732a」、「145732」</p> <p>バージョン: catalogNumber-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/catalogNumber</p>
出現の詳細	<p>出現について入手可能な詳細な情報を参照できる文献（出版物、URL）</p> <p>例: "http://mvzarctos.berkeley.edu/guid/MVZ:Mamm:165861"</p> <p>バージョン: occurrenceDetails-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/occurrenceDetails</p>
出現の補足説明	<p>出現に関するコメントまたはメモ。</p> <p>例: 「路上で死んだ状態で発見」</p> <p>バージョン: occurrenceRemarks-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/occurrenceRemarks</p>
記録番号	<p>記録された時点での出現に関する識別子。多くの場合、標本収集者の収集番号など、出現履歴とフィールドノート情報をリンクさせる役割を果たす。</p> <p>例: 「OPP 7101」</p> <p>バージョン: recordNumber-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/recordNumber</p>
記録者	<p>原著の出現記録に責任を持つ人、グループ、または組織の名称のリスト（連結および分離されたもの）。第一収集者または観察者、特に個体識別子（記録番号）を適用した者を冒頭に記載すべきである。</p> <p>例: 「Oliver P. Pearson; Anita K. Pearson」（記録番号値は OPP 7101。これは Oliver P. Pearson のフィールドカタログ（収集番号）内での標本番号に対応する）。</p> <p>バージョン: recordedBy-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/recordedBy</p>
個体 ID	<p>出現した個々の生物の個体、または名称グループの識別子。観察目的のため、同一の個体またはグループのリサンプリングに対応するためのもの。世界的に固有の識別子、またはデータセットに固有の識別子であってもよい。</p> <p>例: 「U.amer. 44」、「Smedley」、「Orca J 23」</p> <p>バージョン: individualID-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/individualID</p>
個体数	<p>個体数は、出現時に存在した数を示す。</p> <p>例: 「1」、「25」</p> <p>バージョン: individualCount-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/individualCount</p>

性別	出現した生物学的個体の性別。統制語彙の使用が強く推奨される。
----	--------------------------------

	<p>例：「メス」、「雌雄同体」、「オス 8, メス 4」 バージョン：sex-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/sex</p>
ライフステージ	<p>出現が記録された時点での、生物学的個体の年齢分類またはライフステージ。統制語彙の使用が強く推奨される。 例：「卵」、「eft」、「幼若体」、「成体」、「成体 2 幼若体 4」 バージョン：lifeStage-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/lifeStage</p>
生殖状態	<p>出現内で示された生物学的個体の生殖状態。統制語彙の使用が強く推奨される。 例：「未成熟」、「妊娠した」、「旺盛期」、「結実期」 バージョン：reproductiveCondition-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/reproductiveCondition</p>
行動	<p>出現が記録された時点での、被験体によって示される挙動の説明。統制語彙の使用が強く推奨される。 例：「止まり木にとまっている」、「餌を採っている」、「走っている」 バージョン：behavior-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/behavior</p>
定着の方法	<p>出現内で示される生物学的個体がある場に定着することになった過程。統制語彙の使用が強く推奨される。 例：「養殖／飼育」、「侵襲」、「捕獲から脱出した」、「野生」、「自生」 バージョン：establishmentMeans-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/establishmentMeans</p>
出現の状況	<p>ある場所での分類群上の存在または非存在に関する情報。統制語彙の使用が強く推奨される。 例：「あり」、「なし」 バージョン：occurrenceStatus-2009-09-17 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/occurrenceStatus</p>
調整	<p>標本の調整および保存方法のリスト（連結および分離されたもの）。 例：「皮膚；頭蓋骨；骨格」、「全個体（エタノール）；組織（エチレンジアミン四酢酸）」、「化石」、「抜け殻」、「写真」、「DNA 抽出」 バージョン：preparations-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/preparations</p>
処置	<p>コレクションコードまたはコレクション ID で識別されたコレクションについての標本の現在の状態。統制用語の使用が強く推奨される。 例：「所蔵」、「紛失」、「別の場所に証拠が存在」、「他で複製された」 バージョン：disposition-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/disposition</p>
その他のカタログ番号	<p>現在またはその他のデータセット内またはコレクション内にある場合、同一の出現について、別の人によって使用された別の識別子、あるいは、以前または代替の完全修飾カタログ番号のリスト（連結および分離されたもの）。 例：「FMNH:Mammal:1234」、「NPS YELLO6778; MBG 33424」 バージョン：otherCatalogNumbers-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/otherCatalogNumbers</p>
以前の識別	<p>出現の名称についての以前の割り付けリスト（連結および分離されたもの）。 例："Anthus sp., field ID by G. Iglesias; "Anthus correndera, expert ID by C. Cicero 2009-02-12 based on morphology" バージョン：previousIdentifications-2009-05-18 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/previousIdentifications</p>
関連メディア	<p>出現に関連するメディアの識別子（出版物、汎用的な固有識別子、URL）のリスト（連結および分離されたもの） 例：</p>

	<p>"http://arctos.database.museum/SpecimenImages/UAMObs/Mamm/2/P7291179.JPG"</p> <p>バージョン : associatedMedia-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/associatedMedia</p>
関連文献	<p>出現に関連する文献の識別子（出版物の書誌情報、汎用的な固有識別子、URL）のリスト（連結および分離されたもの）</p> <p>例 :</p> <p>"http://www.sciencemag.org/cgi/content/abstract/322/5899/261", "Christopher J. Conroy, Jennifer L. Neuwald. 2008. Phylogeographic study of the California vole (カリフォルニアハタネズミに関する系統地理学的研究) <i>Microtus californicus</i> <i>Journal of Mammalogy</i> 89(3):755-767."</p> <p>バージョン : associatedReferences-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/associatedReferences</p>
関連する出現	<p>該当する出現に関連する、他の出現記録とその関連性を示す識別子のリスト（連結及び分離されたもの）。</p> <p>例 : 「FMNH:Mammal:1234 の兄弟; FMNH:Mammal:1235 の兄弟」</p> <p>バージョン : associatedOccurrences-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/associatedOccurrences</p>
関連シーケンス	<p>出現に関連する遺伝子配列情報の識別子（出版物、汎用的な固有識別子、URL）のリスト（連結および分離されたもの）</p> <p>例 : 「GenBank: U34853.1」</p> <p>バージョン : associatedSequences-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/associatedSequences</p>
関連した分類群	<p>出現に関連する分類群とそれらに関連性のある名称または識別子のリスト（連結および分離されたもの）。</p> <p>例 : 「host: Quercus alba」</p> <p>バージョン : associatedTaxa-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/associatedTaxa</p>

イベントクラス

イベント（ある場所、およびある期間に発生する行動）に関連する情報カテゴリー。

イベント ID	<p>イベント（ある場所およびある時間に発生した事柄）に関連する情報群の識別子。汎用的な固有識別子、またはデータセットにおける固有識別子であってもよい。</p> <p>バージョン： eventID-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/eventID</p>
サンプリング方法	<p>イベント発生中に使用された方法またはプロトコルの記述説明または名称。</p> <p>例：「UV ライト・トラップ」、「ミストネット」、「ボトムトロール」、「アドホック観察」、「ポイントカウント」、「空間から: 糞の跡からコウテイペンギンのコロニーの場所を特定」 http://dx.doi.org/10.1111/j.1466-8238.2009.00467.x、"Takats et al. 2001. Guidelines for Nocturnal Owl Monitoring in North America. (北米における夜行性フクロウのための観察ガイドライン) Beaverhill Bird Observatory and Bird Studies Canada, Edmonton, Alberta. 32 pp." "http://www.bsceoc.org/download/Owl.pdf"</p> <p>バージョン： samplingProtocol-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/samplingProtocol</p>
サンプリング労力	<p>イベント中に費やされた労力。</p> <p>例：「トラップを仕掛けて 40 夜」、「観察者を置いて 10 時間; 徒歩で 10km; 車で 30km」</p> <p>バージョン： samplingEffort-2009-08-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/samplingEffort</p>
イベント発生日	<p>イベントが発生した日時または間隔。出現の場合、これはイベントが記録された日時を示す。地質学的コンテキストにおける時間の採用は適していない。ISO 8601:2004 (E) を例とする、符号化方式の使用が強く推奨される。</p> <p>例：「1963-03-08T14:07:0600」（1963 年 3 月 8 日 2:07pm 協定世界時より 6 時間早く）、「2009-02-20T08:40Z」（2009 年 2 月 20 日 8:40am 協定世界時）、「1809-02-12」（1809 年 2 月 12 日）、「1906-06」（1906 年 6 月）、「1971」（1971 年）、「2007-03-01T13:00:00Z/2008-05-11T15:30:00Z」（2007 年 3 月 1 日 1pm 協定世界時～2008 年 5 月 11 日 3:30pm 協定世界時の間）、「2007-11-13/15」（2007 年 11 月 13 日～2007 年 11 月 15 日の間）。</p> <p>バージョン： eventDate-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/eventDate</p>
イベント発生時刻	<p>イベントが発生した時間または間隔。ISO 8601:2004 (E) を例とする、符号化方式の使用が強く推奨される。</p> <p>例：「14:07:0600」（協定世界時より 6 時間早い時間帯での 2:07pm）、「08:40:21Z」（8:40:21am 協定世界時）、「13:00:00Z/15:30:00Z」（1pm 協定世界時～3:30pm 協定世界時の間）</p> <p>バージョン： eventTime-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/eventTime</p>
年の開始日	<p>イベントが発生した年の最初の通日（1 月 1 日は 1; 12 月 31 日は 365、閏年の場合は 366）。</p> <p>例：「1」（1 月 1 日）、「366」（12 月 31 日）、「365」（閏年の場合は 12 月 30 日、閏年以外の年は 12 月 31 日）</p> <p>バージョン： startDayOfYear-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/startDayOfYear</p>
年の最終日	<p>イベントが発生した年の最新の通日（1 月 1 日は 1; 12 月 31 日は 365、閏年の場合は 366）。</p> <p>例：「1」（1 月 1 日）、「366」（12 月 31 日）、「365」（閏年の場合は 12 月 30 日、閏年以外の年は 12 月 31 日）</p>

	バージョン : endDayOfYear-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/endDayOfYear
年	イベントが発生した年の西暦カレンダーによる 4 桁の数字。 例 : 「2008」 バージョン : year-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/year
月	イベントが発生した序数月。 例 : 「1」 (1 月)、「10」 (10 月) バージョン : month-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/month
日	イベントが発生した月の整数日 例 : 「9」、「28」 バージョン : day-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/day
逐語的イベント発生日	イベントの日時に関する情報を、原著の表現形式で逐語的に記載する。 例 : 「1910 年春」、「2002 年 3 月」、「1999-03-XX」、「17IV1934」 バージョン : verbatimEventDate-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/verbatimEventDate
生息地	イベントが発生した生息地のカテゴリまたはその説明。 例 : 「オークサバンナ」、「プレコルディエラス草原」 バージョン : habitat-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/habitat
フィールド番号	フィールド内でのイベントに付与された識別子。多くの場合、フィールドノートとイベントの情報をリンクさせる機能を果たす。 例 : 「RV Sol 87-03-08」 バージョン : fieldNumber-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/fieldNumber
フィールドノート	イベントについての a) 存在物の識別子、b) 参照先 (出版物または URL)、または c) フィールドで取られたノート 例 : 「グリーンミラー・ライブラリーで入手可能なノート」 バージョン : fieldNotes-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/fieldNotes
イベントの補足説明	イベントについてのコメントまたはメモ。 例 : 「最近の降雨の後のため、川はほぼ氾濫状態にある」 バージョン : eventRemarks-2009-04-24

位置クラス

空間領域または名前が付けられた場所。ダーウィンコアの場合、地名が付与されている、されていないにかかわらず、場所を記述した一連の用語。

位置 ID	一連の位置情報 (dcterms:Location に関連付けられているデータ) に与えられる識別子。汎用的な固有識別子、またはデータセットにおける固有識別子である可能性もある。 バージョン : locationID-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/locationID
上位地名 ID	発生地域の地理的地域の識別子。ゲッティー地名類語辞典 (Getty Thesaurus of Geographic Names) などで見られる統制語彙から、永続的な識別子を使用することが強く推奨される。 例 : 「TGN: 1002002」 (アルゼンチン、ティエラ・デル・フエゴ州) バージョン : higherGeographyID-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/higherGeographyID
上位地名	局所用語に包含された情報よりも非特定の地名のリスト (連結および分離されたもの)。 例 : 「South America; Argentina; Patagonia; Parque Nacional Nahuel Huapi; Neuquén; Los Lagos」 (大陸としての「南米」、国としての「アルゼンチン」、州としての「ネウケン」、および郡としての「ロス・ラゴス」という情報を伴う)。 バージョン : higherGeography-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/higherGeography
大陸	発生地域の大陸の名称。ゲッティー地名類語辞典 (Getty Thesaurus of Geographic Names) または ISO 3166 大陸コードなどで見られる、統制語彙の使用が強く推奨される。 例 : 「南極」 バージョン : continent-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/continent
水域	発生地域の水域の名称。ゲッティー地名類語辞典 (Getty Thesaurus of Geographic Names) などで見られる、統制語彙の使用が強く推奨される。 例 : 「インド洋」、「バルト海」 バージョン : waterBody-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/waterBody
島群	発生地域の島群の名称。ゲッティー地名類語辞典 (Getty Thesaurus of Geographic Names) などで見られる、統制語彙の使用が強く推奨される。 例 : 「アレキサンダー列島」 バージョン : islandGroup-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/islandGroup
島	発生地域の島自体または近隣の島の名称。ゲッティー地名類語辞典 (Getty Thesaurus of Geographic Names) などで見られる、統制語彙の使用が強く推奨される。 例 : 「ビクトリア島」 バージョン : island-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/island
国	発生地域の国または主要行政単位の名称。ゲッティー地名類語辞典 (Getty Thesaurus of Geographic Names) などで見られる、統制語彙の使用が強く推奨される。 例 : 「デンマーク」、「コロンビア」、「スペイン」 バージョン : country-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/country

国別コード	<p>発生地域の国の標準コード。ISO 3166-1-alpha-2 の国別コードの使用が強く推奨される。</p> <p>例：「AR」（アルゼンチン）、「SV」（エルサルバドル）</p> <p>バージョン：countryCode-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/countryCode</p>
州／省	<p>発生地域の国（州、省、小群、省、地域など）の下位概念に当たる、次に小さい単位の行政区の名称。</p> <p>例：「モンタナ」、「ミナスジェライス」、「コルドバ」</p> <p>バージョン：stateProvince-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/stateProvince</p>
郡	<p>発生地域の州（郡、シャイア（shire）、省など）の下位概念に当たる、次に小さい単位の行政区の正式名称（省略不可）。</p> <p>例：「ミズーラ」、「ロス・ラゴス」、「マタロ」</p> <p>バージョン：county-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/county</p>
自治体	<p>発生地域の郡（市、自治体など）の下位概念に当たる、次に小さな単位の行政区の正式名称（省略不可）。実際の場所が含まれていない、近くの場所を指す用語は使用しないこと。</p> <p>例：「ホルツミンデン」</p> <p>バージョン：municipality-2009-08-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/municipality</p>
局所情報	<p>場所の具体的な説明。具体性に欠ける地理情報は、その他の地理的用語（上位地名、大陸、国、州、郡、自治体、水域、島、島群のカテゴリー）で提供することができる。この用語欄では、知覚的エラーの訂正、または、記述の標準化を目的として、原著から変更された情報が含まれている可能性がある。</p> <p>例：「バリローチェ、ルタナシオナル 40 (=Ruta 237) を経由して北北東へ 25km」</p> <p>バージョン：locality-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/locality</p>
逐語的局所情報	<p>場所についての原著の説明。</p> <p>例："25 km NNE Bariloche por R. Nac. 237"</p> <p>バージョン：verbatimLocality-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/verbatimLocality</p>
逐語的高度	<p>場所の高度（標高、通常は海拔）の原著の説明。</p> <p>例：「100～200m」</p> <p>バージョン：verbatimElevation-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/verbatimElevation</p>
下限高度 (m)	<p>高度（標高、通常は海拔）の範囲の下限（m）。</p> <p>例：「100」</p> <p>バージョン：minimumElevationInMeters-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/minimumElevationInMeters</p>
上限高度 (m)	<p>上限高度（m）</p> <p>高度（標高、通常は海拔）の範囲の上限（m）。</p> <p>例：「200」</p> <p>バージョン：maximumElevationInMeters-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/maximumElevationInMeters</p>
逐語的深度	<p>地表面下の深さに関する原著の説明。</p> <p>例：「100～200m」</p> <p>バージョン：verbatimDepth-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/verbatimDepth</p>
上限深度	<p>局所的表面下の深度範囲の最深深度（m）。</p>

(m)	<p>例：「200」</p> <p>バージョン： maximumDepthInMeters-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/maximumDepthInMeters</p>
表層上の最小距離 (m)	<p>垂直方向の基準面からの距離範囲内における最小距離 (m)。表層上の位置は正の値、表層下の位置は負の値を付けて使用すること。基準面は、深度測定値が与えられた場合は深度で規定された場所であり、そうでなければ高度で規定された場所となる。</p> <p>例：標高 300m の湖（深さ 20m）の底から 1.5m 地点の堆積物コアの場合、逐語的高さ：「300m」、下限高度 (m)：「300」、上限高度 (m)：「300」、逐語的深さ：「20m」、下限深度 (m)：「20」、上限深度 (m)：「20」、表層上の最小距離 (m)：「0」、表層上の最大距離 (m)：「-1.5」</p> <p>バージョン： minimumDistanceAboveSurfaceInMeters-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/minimumDistanceAboveSurfaceInMeters</p>
表層上の最大距離 (m)	<p>垂直方向の基準面からの距離範囲内における最大距離 (m)。表層上の位置は正の値、表層下の位置は負の値を付けて使用すること。基準面は、深度測定値が与えられた場合は深さで規定された場所であり、そうでなければ高さで規定された場所となる。</p> <p>例：標高 300m の湖（深さ 20m）の底から 1.5m 位置の堆積物コアの場合、逐語的高度：「300m」、下限高度 (m)：「300」、上限高度 (m)：「300」、逐語的深度：「20m」、下限深度 (m)：「20」、上限深度 (m)：「20」、表層上の最小距離 (m)：「0」、表層上の最大距離 (m)：「-1.5」</p> <p>バージョン： maximumDistanceAboveSurfaceInMeters-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/maximumDistanceAboveSurfaceInMeters</p>
位置情報源	<p>当該位置情報のソースに関する情報。出版物（地名集）、機関、または個人のチームを指す場合がある。</p> <p>例：「ゲッティー地名類語辞典（Getty Thesaurus of Geographic Names）」、「GADM」</p> <p>バージョン： locationAccordingTo-2009-08-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/locationAccordingTo</p>
場所の補足説明	<p>場所に関するコメントまたはメモ</p> <p>例：「2005 年より水中下」</p> <p>バージョン： locationRemarks-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/locationRemarks</p>
逐語的座標	<p>位置に関する原著の逐語的空間座標。これらの座標についての楕円体座標、測地学データ、または完全な空間参照系 (SRS) は、逐語的 SRS (verbatimSRS) に保存されるべきであり、座標系は逐語的座標系 (verbatimCoordinateSystem) に保存されるべきである。</p> <p>例：「41 05 54S 121 05 34W」、「17T 630000 4833400」</p> <p>バージョン： verbatimCoordinates-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/verbatimCoordinates</p>
逐語的緯度	<p>場所に関する原著の逐語的緯度。これらの座標についての楕円体座標、測地学データ、または完全な空間参照系 (SRS) は、逐語的 SRS (verbatimSRS) に保存されるべきであり、座標系は逐語的座標系 (verbatimCoordinateSystem) に保存されるべきである。</p> <p>例：「41 05 54.03S」</p> <p>バージョン： verbatimLatitude-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/verbatimLatitude</p>
逐語的経度	<p>場所に関する原著の逐語的経度。これらの座標についての楕円体座標、測地学データ、または完全な空間参照系 (SRS) は、逐語的 SRS (verbatimSRS) に保存されるべきであり、座標系は逐語的座標系 (verbatimCoordinateSystem) に保存されるべきである。</p>

	<p>例：「121D 10 '34 「W」 バージョン： verbatimLongitude-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/verbatimLongitude</p>
逐語的座標系	<p>場所に関する逐語的緯度と逐語的経度、または、逐語的座標の空間座標系。統制語彙の使用が強く推奨される。 例：「十進法 (decimal degrees)」、「分 (degrees decimal minutes)」、「分秒 (degrees minutes seconds)」、「UTM」 バージョン： verbatimCoordinateSystem-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/verbatimCoordinateSystem</p>
逐語的 SRS	<p>逐語的緯度と逐語的経度、または、逐語的座標に基づいて得られた座標の楕円体、測地学データ、または空間参照系 (SRS)。SRS が判明している場合はそれを明確にするため、統制語として EPSG コードを使用することが強く推奨される。判明していない場合は、(該当するならば既知の) 測地学データの名前またはコードの統制語彙を使用すること。そうでない場合は、(該当するならば既知の) 楕円体の名前またはコードの統制語彙を使用すること。これらのいずれもが当てはまらない場合は、「不明」という用語を使用すること。 例：「EPSG : 4326」、「WGS84」、「NAD27」、「Campo Inchauspe」、「European 1950」、「Clarke 1866」 バージョン： verbatimSRS-2009-07-06 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/verbatimSRS</p>
十進法緯度	<p>位置の地理的中心における地理的緯度 (十進法で表記。測地学データで与えられた空間参照系を使用する)。正の値は赤道より北、負の値は赤道より南を示す。有効な値は、-90 以上、90 以下となる。 例：「-41.0983423」 バージョン： decimalLatitude-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/decimalLatitude</p>
十進法経度	<p>位置の地理的中心における地理的経度 (十進法で表記。測地学データで与えられた空間参照系を使用する)。正の値はグリニッジ子午線の東側、負の値はグリニッジ子午線の西側を指す。有効な値は、-180 以上、180 以下となる。 例：「-121.1761111」 バージョン： decimalLongitude-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/decimalLongitude</p>
測地学データ	<p>十進法による緯度と十進法による経度によって得られた地理的座標に基づいた、楕円体、測地学データ、または空間参照系 (SRS)。SRS が判明している場合はそれを明確にするため、統制語として EPSG コードを使用することが強く推奨される。判明していない場合は、(該当するならば既知の) 測地学データの名前またはコードの統制語彙を使用すること。そうでない場合は、(該当するならば既知の) 楕円体の名前またはコードの統制語彙を使用すること。これらのいずれもが当てはまらない場合は、「不明」という用語を使用すること。 例：「EPSG : 4326」、「WGS84」、「NAD27」、「Campo Inchauspe」、「European 1950」、「Clarke 1866」 バージョン： geodeticDatum-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/geodeticDatum</p>
座標の不確実性 (m)	<p>位置の全体域を含む最小円を描く緯度 (decimalLatitude) および経度 (decimalLongitude) から与えられる水平距離 (m)。不確実性が不明、見積ることができない、または、(全く座標が存在しないために) 適用されない場合は、値を記入しない。 この用語において、ゼロは有効な値ではない。 例：「30」(実際の精度が同時に記録されていない場合で、良好な条件下における GPS 測定値の合理的な下限値)、「71」(100m の精度、および既知の空間参</p>

	<p>照系を有する UTM 座標の不確実性)。 バージョン： <code>coordinateUncertaintyInMeters-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/coordinateUncertaintyInMeters</p>
座標精度	<p>十進法による緯度と十進法による経度で得られた座標の精度。十進法で表現する。 例：「0.00001」（十進法で表された、通常の GPS の限界）、「0.000278」（直近の秒）、「0.01667」（直近の分）、「1.0」（直近の度） バージョン： <code>coordinatePrecision-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/coordinatePrecision</p>
ポイント半径の空間適合性	<p>位置におけるポイント半径（十進法緯度、十進法経度、座標不確実性 (m)）の領域、および真の（オリジナルまたは最も特定の）空間表現の領域の比率。有効な値は 0~1 以下の値、または未定義である。1 の値は完全に一致、または 100%オーバーラップしていることを意味する。所定のポイント半径がオリジナルの値を含んでいない場合、0 の値を入力すべきである。原著の値が不確実性のないポイントである場合、および当該地点が（不確実性のない）同一のポイントではない場合は、ポイント半径空間適合性の値は未定義となる（空白のままにする）。原著の地点と当該地点が同一である場合、ポイント半径空間適合性の値は 1 となる。 地点例を含む詳細な説明は、Chapman & Wieczorek, eds. (2006) の <i>Guide to Best Practices for Georeferencing</i> を参照のこと (http://www.gbif.org/prog/digit/Georeferencing)。 バージョン： <code>pointRadiusSpatialFit-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/pointRadiusSpatialFit</p>
足跡 WKT	<p>場所を定義する形状（足跡、形状）を Well-Known Text (WKT) 形式で表したものの。位置は、ポイント半径値（十進法緯度を参照）および足跡の値の両方を有する可能性があり、それらは互いに異なってもよい。 例：（経度=10、緯度= 20）および（経度= 11、緯度= 21）の対角を持つ 1 度のバウンディングボックスは、WKT 形式ではポリゴン ((10 20, 11 20, 11 21, 10 21, 10 20))と表現される。 バージョン： <code>footprintWKT-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/footprintWKT</p>
足跡 SRS	<p>位置の足跡 WKT について、WKT 形式で空間参照系 (SRS) を表現したもの。足跡 WKT の場合と同じ値であっても、十進法緯度と十進法経度の SRS を記述する目的で使用しないこと。このような場合は、測地学データを使用する。 例：標準 WGS84 SRS (EPSG : 4326) の WKT は、 "GEOGCS["GCS_WGS_1984",DATUM["D_WGS_1984",SPHEROID["WGS_1984",6378137,298.257223563]],PRIMEM["Greenwich",0],UNIT["Degree",0.0174532925199 433]]" となる（囲み引用符なし）。 バージョン： <code>footprintSRS-2009-07-06</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/footprintSRS</p>
足跡の空間適合性	<p>位置の真の（原著または最も特定の）空間表現の領域、および足跡（足跡 WKT）の領域の比率。有効な値は 0~1 以下の値、または未定義である。1 の値は完全に一致、または 100%オーバーラップしていることを意味する。所定の足跡が全ての原著の値を含んでない場合は、必ず 0 の値を使用すること。原著の値がポイントである場合、および当該地点が同一のポイントではない場合は、足跡空間適合性の値は未定義となる（空白のままにする）。原著の地点と当該地点が同一である場合、足跡の空間適合性の値は 1 となる。 地点例を含む詳細な説明は、Chapman & Wieczorek, eds. (2006) の <i>Guide to Best Practices for Georeferencing</i> を参照のこと (http://www.gbif.org/prog/digit/Georeferencing)。 バージョン： <code>footprintSpatialFit-2009-04-24</code></p>

	http://rs.tdwg.org/dwc/terms/footprintSpatialFit
地理的参照 決定者	位置の地理的参照（空間表現）を決定した人、グループ、または組織の名称のリスト（連結および分離されたもの）。 例：「Kristina Yamamoto (MVZ); Janet Fang (MVZ)」、「Brad Millen (ROM)」 バージョン： georeferencedBy-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/georeferencedBy
地理的参照 決定日	位置が地理的参照とされた日付。ISO 8601:2004 (E) を例とする、符号化方式の使用が強く推奨される。 例：「1963-03-08T14:07-0600」（1963年3月8日 2:07pm 協定世界時より6時間早く）、「2009-02-20T08:40Z」（2009年月20日 8:40am 協定世界時）、「1809-02-12」（1809年2月12日）、「1906-06」（1906年6月）、「1971」（1971年）、「2007-03-01T13:00:00Z/2008-05-11T15:30:00Z」（2007年3月1日 1pm 協定世界時～2008年5月11日 3:30pm 協定世界時の間）、「2007-11-13/15」（2007年11月13日～2007年11月15日の間）。詳細は http://code.google.com/p/darwincore/wiki/Location のこと。 バージョン： georeferencedDate-2011-10-16 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/georeferencedDate
地理的参照 決定法	空間的足跡、座標、不確実性を決定する際に使用した方法の参照先または説明。 例: "Guide to Best Practices for Georeferencing" (Chapman and Wieczorek, eds. 2006), Global Biodiversity Information Facility.", "MaNIS/HerpNet/ORNIS Georeferencing Guidelines", "BioGeomancer" バージョン： georeferenceProtocol-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/georeferenceProtocol
地理的参照 の情報元	位置の地理的参照を決定する際に使った地図、地名辞典、またはその他のリソースのリスト（連結および分離されたもの）。将来的に誰が見ても同一のリソースを使用できるように、具体的で十分な説明を記述すること。 例: "USGS 1:24000 Florence Montana Quad; Terrametrics 2008 on Google Earth" バージョン： georeferenceSources-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/georeferenceSources
地理的参照 の検証状態	地理的参照が可能な限り最良の空間的記述であることを検証した、検証程度に関する説明。統制語彙の使用が強く推奨される。 例：「検証が必要」、「採取者による検証」、「学芸員による検証」 バージョン： georeferenceVerificationStatus-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/georeferenceVerificationStatus
地理的参照 の補足説明	空間表現の決定方法に関するメモまたはコメント。地理的参照決定法（georeferenceProtocol）で参照した方法を形式化するにあたり、付加または反駁する仮定に関する説明。 例：「道路（Hwy. 101）からの想定距離」 バージョン： georeferenceRemarks-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/georeferenceRemarks

地質コンテキストクラス

層序など地質学的コンテキスト内での位置に関する情報カテゴリー。

地質コンテキスト ID	<p>地質コンテキスト（層序などの地質学的文脈で解釈した位置）に関連した一連の情報群の識別子。汎用的な固有識別子、またはデータセットに固有の識別子である可能性がある。</p> <p>バージョン： <code>geologicalContextID-2009-07-06</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/geologicalContextID</p>
最古年代または最下限地層	<p>可能な限り判明する、最も古い地質年代、または最も低い位置にある地層（<i>eonothem</i>）の正式名称、あるいは、当該カタログ項目が収集された層準に帰属する非公式名称（「先カンブリア」）。</p> <p>例：「顕生代」、「原生代」</p> <p>バージョン： <code>earliestEonOrLowestEonothem-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/earliestEonOrLowestEonothem</p>
最新時代または最上限地層	<p>可能な限り判明する、最も新しい地質年代または最も高い位置にある地層（<i>eonothem</i>）の正式名称、あるいは、当該カタログ項目が収集された層準に帰属する非公式名称（「先カンブリア」）。</p> <p>例：「顕生代」、「原生代」</p> <p>バージョン： <code>latestEonOrHighestEonothem-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/latestEonOrHighestEonothem</p>
最古時代または最下限地層	<p>可能な限り判明する、最も古い地質時代、または当該カタログ項目が収集された層準に帰属する最も低い地層（<i>erathem</i>）の正式名称。</p> <p>例：「新生代」、「中生代」</p> <p>バージョン： <code>earliestEraOrLowestErathem-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/earliestEraOrLowestErathem</p>
最新時代または最上限地層	<p>可能な限り判明する、最も新しい地質時代、または当該カタログ項目が収集された層準に帰属する最も高い地層（<i>erathem</i>）の正式名称。</p> <p>例：「新生代」、「中生代」</p> <p>バージョン： <code>latestEraOrHighestErathem-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/latestEraOrHighestErathem</p>
最古紀または最下限系	<p>可能な限り判明する、最も古い地質紀、または当該カタログ項目が収集された層準に帰属する最も低い年代層序系の正式名称。</p> <p>例：「新第三紀」、「第三紀」、「第四紀」</p> <p>バージョン： <code>earliestPeriodOrLowestSystem-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/earliestPeriodOrLowestSystem</p>
最新紀または最上限系	<p>可能な限り判明する、最も新しい地質紀、または当該カタログ項目が収集された層準に帰属する最も高い年代層序系の正式名称。</p> <p>例：「新第三紀」、「第三紀」、「第四紀」</p> <p>バージョン： <code>latestPeriodOrHighestSystem-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/latestPeriodOrHighestSystem</p>
最古世または最下限統	<p>可能な限り判断できる、最も古い地質年代の世、または当該カタログ項目が収集された層準に帰属する最も低い層序統の正式名称。</p> <p>例：「完新世」、「更新世」、「Ibexian Series」</p> <p>バージョン： <code>earliestEpochOrLowestSeries-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/earliestEpochOrLowestSeries</p>
最新世または最上限統	<p>可能な限り判断できる、最も新しい地質年代の世、または当該カタログ項目が収集された層準に帰属する最も高い層序統の正式名称。</p> <p>例：「完新世」、「更新世」、「Ibexian Series」</p>

	バージョン : latestEpochOrHighestSeries-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/latestEpochOrHighestSeries
最古期または最下限階	可能な限り判明する、最も古い地質期、または当該カタログ項目が収集された層準に帰属する最も低い層序階の正式名称。 例: 「Atlantic」、「Boreal」、「Skullrockian」 バージョン : earliestAgeOrLowestStage-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/earliestAgeOrLowestStage
最新期または最上限階	可能な限り判明する、最も新しい地質期、または当該カタログ項目が収集された層準に帰属する最も高い層序階の正式名称。 例: 「Atlantic」、「Boreal」、「Skullrockian」 バージョン : latestAgeOrHighestStage-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/latestAgeOrHighestStage
最下限地質生層序域	当該カタログ項目が収集された層準において、可能な限り判明する最も低い地質生層序域の正式名称。 バージョン : lowestBiostratigraphicZone-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/lowestBiostratigraphicZone
最上限地質生層序域	当該カタログ項目が収集された層準において、可能な限り判明する最も高い地質生層序域の正式名称。 バージョン : highestBiostratigraphicZone-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/highestBiostratigraphicZone
岩相層序学名称	当該カタログ項目が収集された岩における、全ての岩相層序名の組み合わせ。 バージョン : lithostratigraphicTerms-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/lithostratigraphicTerms
群	当該カタログ項目が収集された岩相層序群の正式名称。 バージョン : group-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/group
形成	当該カタログ項目が収集された岩相層序形成の正式名称。 例 : 「Notch Peak Fromation」、「ハウス・ライムストーン」、「フィルモア形成」 バージョン : formation-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/formation
構成物	当該カタログ項目が収集された岩相層序学的な構成物の正式名称。 例 : 「Lava Dam Member」、「Hellnmaria Member」 バージョン : member-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/member
岩相地	当該カタログ項目が収集された岩相層序地の正式名称。 バージョン : bed-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/bed

識別クラス

分類学的決定に関係する情報カテゴリー（学名の割り当て）。

識別 ID	<p>識別（学名の割り当てに関連する情報自体）の識別子。汎用的な固有識別子、またはデータセットにおける固有識別子である可能性がある。</p> <p>バージョン： <code>identificationID-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/identificationID</p>
識別者	<p>対象物の分類群を決定した人、グループ、または組織の名称のリスト（連結および分離されたもの）。</p> <p>例：「James L. Patton」、「Theodore Pappenfuss; Robert Macey」</p> <p>バージョン： <code>identifiedBy-2009-08-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/identifiedBy</p>
識別日	<p>対象物が分類群に分類されると同定された日付。ISO 8601:2004 (E) を例とする、符号化方式の使用が強く推奨される。</p> <p>例：「1963-03-08T14:07:0600」（1963年3月8日 2:07pm 協定世界時より6時間早く）、「2009-02-20T08:40Z」（2009年2月20日 8:40am 協定世界時）、「1809-02-12」（1809年2月12日）「1906-06」（1906年6月）、「1971」（1971年）、「2007-03-01T13:00:00Z/2008-05-11T15:30:00Z」（2007年3月1日 1pm 協定世界時～2008年5月11日 3:30pm 協定世界時の間）、「2007-11-13/15」（2007年11月13日～2007年11月15日の間）。</p> <p>バージョン： <code>dateIdentified-2009-08-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/dateIdentified</p>
識別の参考文献	<p>同定に使用された参考文献（出版物、汎用的な固有識別子、URL）のリスト（連結および分離されたもの）。</p> <p>例："Aves del Noroeste Patagonico. Christie et al. 2004."</p> <p>バージョン： <code>identificationReferences-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/identificationReferences</p>
識別の検証状態	<p>分類学的同定がどの程度正しいかを検証した範疇的な指標。HISPID/ABCDなどで見られる統制語彙の使用が強く推奨される。</p> <p>例：「0」、「4」。詳細は http://code.google.com/p/darwincore/wiki/Identification を参照のこと。</p> <p>バージョン： <code>identificationVerificationStatus-2011-10-16</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/identificationVerificationStatus</p>
識別の補足説明	<p>識別に関するコメントまたはメモ。</p> <p>例：「uñasの相対的長さを比較することにより <i>Anthus correndera</i> と <i>Anthus hellmayri</i> を区別」</p> <p>バージョン： <code>identificationRemarks-2009-04-24</code> http://rs.tdwg.org/dwc/terms/identificationRemarks</p>
同定の修飾説明	<p>同定についての、決定者の疑念を表すための簡単なフレーズまたは標準的用語 ("cf.", "aff.")。</p> <p>例：1) <i>Quercus aff. agrifolia var. oxyadenia</i> の識別において、同定修飾説明の欄に「<i>aff. agrifolia var. oxyadenia</i>」と記した上で、属の欄に「<i>Quercus</i>」、種小名に「<i>agrifolia</i>」、種以下の分類に「<i>oxyadenia</i>」、ランクに「<i>var.</i>」と追記する。</p> <p>2) <i>Quercus agrifolia cf. var. oxyadenia</i> の識別において、同定修飾説明の欄に「<i>cf. var. oxyadenia</i>」と記した上で、属の欄に「<i>Quercus</i>」、種小名に「<i>agrifolia</i>」、種以下の分類に「<i>oxyadenia</i>」、ランクに「<i>var.</i>」と追記する。</p> <p>バージョン： <code>identificationQualifier-2009-04-24</code></p>

	http://rs.tdwg.org/dwc/terms/identificationQualifier
タイプ状況	被験体に適用された命名タイプ（タイプ状況、典型的な学名、出版物）のリスト（連結および分離されたもの）。 例: "holotype of <i>Ctenomys sociabilis</i> . Pearson O. P.& M. I. Christie. 1985. <i>Historia Natural</i> , 5(37):388" バージョン : typeStatus-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/typeStatus

分類群クラス

分類学上の名前、分類群名の使用法、または分類群の概念に関連する情報カテゴリー。

分類群 ID	一連の分類群情報（分類群クラスに関連付けられたデータ）の識別子。汎用的な固有識別子、またはデータセットにおける固有識別子であってもよい。 例： "8fa58e08-08de-4ac1-b69c-1235340b7001", "32567", "http://species.gbif.org/abies_alba_1753", "urn:lsid:gbif.org:usages:32567" バージョン： taxonID-2009-08-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/taxonID
学名 ID	学名の命名法に関する詳細の識別子（分類学上の命名法ではない）。 例： "urn:lsid:ipni.org:names:37829-1:1.3" バージョン： scientificNameID-2009-08-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/scientificNameID
許容された呼称 ID	現在有効な（動物学上の）分類群、または許容された（植物学上の）分類群の使用名称（情報源に当たることができる文書化された名前）の識別子。 例： "8fa58e08-08de-4ac1-b69c-1235340b7001" バージョン： acceptedNameUsageID-2009-09-21 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/acceptedNameUsageID
上位範疇の呼称 ID	学名の最も具体的な要素の、直接的かつ（分類学上）直近の上位範疇にあたる分類群の使用名称（情報源に当たることができる文書化された名前）の識別子。 例： "8fa58e08-08de-4ac1-b69c-1235340b7001" バージョン： parentNameUsageID-2009-09-21 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/parentNameUsageID
原著の名称 ID	関連する命名法コードの規定に基づき決定された原著の学名の、各要素内で使用された名称（情報源に当たることができる文書化された名前）の識別子。 例： "http://species.gbif.org/abies_alba_1753" バージョン： originalNameUsageID-2009-09-21 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/originalNameUsageID
参照先の名称 ID	特定の分類群名における概念の範囲が定義または暗示されている情報源の識別子。名称の参照先（nameAccordingTo）を参照のこと。 例： "doi:10.1016/S0269-915X(97)80026-2" バージョン： nameAccordingToID-2009-09-21 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/nameAccordingToID
出版物名 ID	関連する命名法コードに基づいて決定された原著の学名の名称について記載された出版物の識別子。 例： "http://hdl.handle.net/10199/7" バージョン： namePublishedInID-2009-09-21 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/namePublishedInID
分類群的概念 ID	記録が参照する分類学上の概念の識別子。分類群の命名法の詳細についての識別子ではない。 例： "8fa58e08-08de-4ac1-b69c-1235340b7001" バージョン： taxonConceptID-2009-09-21

	http://rs.tdwg.org/dwc/terms/taxonConceptID
学名	<p>学名の正式名称、および判明している場合は著作者と日付情報。同定の一部を為す場合、この情報は、決定可能な分類学上最も低いレベルのランクに当たる名称でなければならない。また、この用語は同定の質に関する情報を包含してはならず、このような情報は同定修飾説明の欄に記載すべきである。</p> <p>例：「Coleoptera」（目）、「Vespertilionidae」（科）、「Manis」（属）、「Ctenomys sociabilis」（属+種）、「Ambystoma tigrinum diaboli」（属+種+種以下の分類）、「Roptrocercus typographi (Györfi, 1952)」（属+種+学名作成者）、「Quercus agrifolia var. oxyadenia (Torr.) J.T. Howell」（属+種+分類群ランク+種以下の分類+学名作成者）</p> <p>バージョン：scientificName-2009-09-21 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/scientificName</p>
許容呼称	<p>現在有効な（動物学上の）分類群、または許容された（植物学上の）分類群の正式名称。判明している場合は、著作者と日付の情報を含める。</p> <p>例：「Tamias minimus」（<i>Eutamias minimus</i> の有効な呼称）</p> <p>バージョン：acceptedNameUsage-2009-09-21 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/acceptedNameUsage</p>
上位範疇の使用名称	<p>学名の最も具体的な要素の、直接的かつ直近の上位範疇に当たる（分類学上の）分類群の正式名称。判明している場合は、著作者と日付の情報を含める。</p> <p>例：「アカネ科」、「ツル目」、「カメ目」</p> <p>バージョン：parentNameUsage-2009-09-21 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/parentNameUsage</p>
原著の名称	<p>関連する命名法コードに基づいて規定された原著の分類学上の名称。判明している場合は、著作者と日付の情報を含める。学名のバシオニム（植物学）またはバソニム（細菌学）、または代替された名称の旧/以前のホモニム。</p> <p>例：「Pinus abies」、「Gasterosteus saltatrix Linnaeus 1768」</p> <p>バージョン：originalNameUsage-2009-09-21 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/originalNameUsage</p>
名称の参照先	<p>特定の分類群上の概念の範囲が定義または暗示されている情報源の参照先。伝統的に、ラテン語の <i>sensu</i> または <i>sec.</i> ("according to" を意味する "secundum" の略) によって示される。識別の結果による分類群の場合は、キー、モノグラフ、専門家、およびその他の情報源に関する参照先を明記すること。</p> <p>例："McCranie, J. R., D. B. Wake, and L. D. Wilson. 1996. The taxonomic status of <i>Bolitoglossa schmidti</i>, with comments on the biology of the Mesoamerican salamander <i>Bolitoglossa dofleini</i> (Caudata: Plethodontidae). <i>Carib. J. Sci.</i> 32:395-398.", "Werner Greuter 2008", "Lilljeborg 1861, Upsala Univ. Arsskrift, Math. Naturvet., pp. 4, 5"</p> <p>バージョン：nameAccordingTo-2009-09-21 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/nameAccordingTo</p>
出版物名	<p>関連した命名法コードに基づいて決定された最初の学名を記載した出版物の文献。</p> <p>例: "Pearson O. P., and M. I. Christie. 1985. <i>Historia Natural</i>, 5(37):388", "Forel, Auguste, <i>Diagnosies provisoires de quelques espèces nouvelles de fourmis de Madagascar, récoltées par M. Grandidier.</i>, <i>Annales de la Societe Entomologique de</i></p>

	<p>Belgique, Comptes-rendus des Seances 30, 1886" バージョン： namePublishedIn-2009-09-21 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/namePublishedIn</p>
文献の発行年	<p>学名が公表された年の4桁の数字。 例：「1915」、「2008」。 詳細はhttp://code.google.com/p/darwincore/wiki/Taxonを参照のこと。 バージョン： namePublishedInYear-2011-10-16 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/namePublishedInYear</p>
上位分類	<p>分類群レコード内で参照された分類群の、直近の上位範疇に当たる分類群名のリスト（連結および分離されたもの）。上位ランクの項目からリストを書き始め、それぞれのランクをセミコロン（;）で区切ることが強く推奨される。 例：「動物界; 脊索動物門; 脊椎動物; 哺乳類; 獣亜綱; 真獣; 齧歯目; Hystricognatha; ヤマアラシ亜目; Ctenomyidae; Ctenomyini; Ctenomys」 バージョン： higherClassification-2009-08-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/higherClassification</p>
界	<p>分類群が分類されている界の正式な学名。 例：「動物界」、「植物界」 バージョン： kingdom-2009-08-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/kingdom</p>
門	<p>分類群が分類されている門（phylum または division）の正式な学名。 例：「脊索動物門」（phylum）、「コケ植物類」（division） バージョン： phylum-2009-08-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/phylum</p>
綱	<p>分類群が分類されている綱の正式な学名。 例：「哺乳動物綱」、「苔綱」 バージョン： class-2009-08-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/class</p>
目	<p>分類群が分類されている目の正式な学名。 例：「ネコ目」、「ミミカキゴケ目」 バージョン： order-2009-08-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/order</p>
科	<p>分類群が分類されている科の正式な学名。 例：「ネコ科」、「ミミカキゴケ科」 バージョン： family-2009-08-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/family</p>
属	<p>分類群が分類されている属の正式な学名。 例：「ピューマ」、「ミミカキゴケ属」 バージョン： genus-2009-08-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/genus</p>
亜属	<p>分類群が分類されている亜属の正式な学名。ここでは、異物同名との混乱を避けるため属情報を含めるべきである。 例：「ストローブマツ（マツ属）」、「ピューマ（ピューマ）」「ヤリイカ</p>

	<p>(アメリゴ)」、「Hieracium subgen. Pilosella」</p> <p>バージョン： subgenus-2009-08-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/subgenus</p>
種小名	<p>学名の第一または第二小名の名称。</p> <p>例：「concolor」、「gottschei」</p> <p>バージョン： specificEpithet-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/specificEpithet</p>
種以下の分類辞	<p>ランクの情報を含まない、学名の最小または末端の種以下の形容辞の名称。</p> <p>例：「concolor」、「oxyadenia」、「sayi」</p> <p>バージョン： infraspecificEpithet-2009-08-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/infraspecificEpithet</p>
分類群の順位	<p>学名内で最も明確な名称の分類学上の順位。統制語彙の使用が強く推奨される。</p> <p>例：「亜種」、「変種」、「品種」、「種」、「属」</p> <p>バージョン： taxonRank-2009-09-21</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/taxonRank</p>
逐語的な分類学ランク	<p>オリジナルレコードに見られる場合、学名内で最も明確な名称の分類学上のランク。</p> <p>例：「Agamospecies (無性生殖種)」、「sub-lesus」、「prole」、「apomict」、「nothogrex」、「sp.」、「subsp」、「var.」</p> <p>バージョン： verbatimRank-2009-09-21</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/verbatimTaxonRank</p>
学名作成者	<p>適用される命名法コードの規則に従って作成された学名に関する著作情報。</p> <p>例： "(Torr.) J.T. Howell", "(Martinovsk) Tzvelev", "(Györfi, 1952)"</p> <p>バージョン： scientificNameAuthorship-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/scientificNameAuthorship</p>
一般名称	<p>共通または一般の名称</p> <p>例：「Andean Condor (アンデスコンドル)」、「Condor Andino (ヒメコンドル)」、「American Eagle (ハクトウワシ)」、「Gänsegeier (シロエリハゲワシ)」</p> <p>バージョン： vernacularName-2009-07-06</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/vernacularName</p>
命名法コード	<p>学名作成にあたって適用された命名法コード（または、ambiregnal name の場合のコード）。統制語彙の使用が強く推奨される。</p> <p>例：「ICBN」、「ICZN」、「BC」、「ICNCP」、「BioCode」、「ICZN; ICBN」</p> <p>バージョン： nomenclaturalCode-2009-09-21</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/nomenclaturalCode</p>
分類群的状況	<p>分類群の呼び名としての学名の使用状況。分類群の範囲を定義するための分類学的意見を必要とする。その後の優先順位は、専門家の意見を参考にし、当該範囲に含まれる命名法における分類学上の状態を定義することである。これは、概念を定義する特定の分類学的文献との関連性を有する必要がある。統制語彙の使用が強く推奨される。</p> <p>例：「無効」、「誤用」、「同型異名」、「許容」</p>

	<p>バージョン : taxonomicStatus-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/taxonomicStatus</p>
命名法の状況	<p>名称に関する原著の出版物、および、命名の関連規則との適合性に関する状況。これは本質的に、コードの運用規則に従ったアルゴリズムに基づいており、分類学上の意見は必要としない。 Examples: 「nom. ambig.」、「nom. illeg.」、「nom. subnud.」 バージョン : nomenclaturalStatus-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/nomenclaturalStatus</p>
分類群の補足説明	<p>分類群または名称に関するコメントまたはメモ。 例 : 「この名前は、一般的に使用されているスペルミスである」 バージョン : taxonRemarks-2009-08-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/taxonRemarks</p>

補足事項 - リソースの関連性

リソース（出現、分類群、場所、イベントなどのデータ記録例）間の関連性に関する情報。リソースは、識別可能な記録であると考えることができ、出現、場所、イベント、識別、または分類群記録などを含むが、これらに限定されるものではない。

補足事項は関連性のあるデータベースという意味であり、固定されたデータベース構成には適用されない。

リソース関連性 ID	リソース（主体物）と別の項目（関連リソース、目的物）との関係を示す識別子。 バージョン： resourceRelationshipID-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/resourceRelationshipID
リソース ID	関連性の主体物となるリソースの識別子。 バージョン： resourceID-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/resourceID
関連リソース ID	関連リソース（関連性のある主体物というよりも、目的物）の識別子。 バージョン： relatedResourceID-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/relatedResourceID
リソースの関連性	（必要に応じてリソース ID によって同定される）主体物、および関連リソース ID によって識別されるリソースとの関係性。統制語彙の使用が強く推奨される。 例：「duplicate of」（～の複製）、「mother of」（～の母）、「endoparasite of」（～の内部寄生物）、「host to」（～に対する宿主）、「sibling of」（～のシブリング）、「valid synonym of」（～の有効なシノニム）、「located within」（～内に位置）。 詳細は http://code.google.com/p/darwincore/wiki/ResourceRelationship を参照のこと。 バージョン： relationshipOfResource-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/relationshipOfResource
関連性の参照先	2 つのリソース間の関係性を確立する情報源（個人、組織、出版物、参考文献）。 例：「Julie Woodruff」 バージョン： relationshipAccordingTo-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/relationshipAccordingTo
関連性決定日	2 つのリソース間の関係性が確立された日時。ISO 8601:2004（E）を例とする、符号化方式の使用が強く推奨される。 バージョン： relationshipEstablishedDate-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/relationshipEstablishedDate
関連性の補足説明	2 つのリソース間の関係性についてのコメントまたはメモ。 例：「同一の巣から収集された母と子孫」、「実際に採取された花粉」。詳細は http://code.google.com/p/darwincore/wiki/ResourceRelationship を参照のこと。 バージョン： relationshipRemarks-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/relationshipRemarks

補足事項 - 測定または事実

リソース（出現、分類群、場所、イベントなどのデータ記録例）についての測定、事実、特性、または断定に関する情報。

補足事項は関連性のあるデータベースという意味であり、固定されたデータベース構成には適用されない。

測定 ID	測定または事実（測定、事実、特性、または断定に関する情報）の識別子。汎用的な固有識別子、またはデータセットにおける固有識別子であってもよい。 例：「同一の巣から収集された母と子孫」、「実際に採取された花粉」。詳細は http://code.google.com/p/darwincore/wiki/ResourceRelationship を参照のこと。 バージョン： measurementID-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/measurementID
測定タイプ	測定、事実、特性、または断定の種類。統制語彙の使用が強く推奨される。 例：「尾の長さ」、「温度」、「トラップラインの長さ」、「調査地域」、「トラップタイプ」。詳細は http://code.google.com/p/darwincore/wiki/MeasurementOrFact を参照のこと。 バージョン： measurementType-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/measurementType
測定値	測定、事実、特性、または断定の値。 例：「45」、「20」、「1」、「14.5」、「UV 光」。 詳細は http://code.google.com/p/darwincore/wiki/MeasurementOrFact を参照のこと。 バージョン： measurementValue-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/measurementValue
測定精度	測定値に関連する潜在的エラーの説明。 例：「0.01」、「2m のばらつきがある正規分布」。詳細は http://code.google.com/p/darwincore/wiki/MeasurementOrFact を参照のこと。 バージョン： measurementAccuracy-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/measurementAccuracy
測定単位	測定または事実（MeasurementOrFact）の実施された日付。ISO 8601:2004（E）のような、符号化方式の使用が強く推奨される。 バージョン： measurementUnit-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/measurementUnit
測定決定者	測定または事実（MeasurementOrFact）の値を決定した人、グループ、または組織の名称のリスト（連結及び分離されたもの）。 例：「Javier de la Torre」、「Julie Woodruff; Eileen Lacey」 詳細は http://code.google.com/p/darwincore/wiki/MeasurementOrFact を参照のこと。 バージョン： measurementDeterminedBy-2009-04-24 http://rs.tdwg.org/dwc/terms/measurementDeterminedBy
測定法	測定、事実、特性、または断定についての情報を決定するために使用した方法もしくはプロトコルについての記述、または参考文献（出版物、URL）。 例：ホームレンジ領域の測定の場合は「巣穴の入り口の周囲の最小凸多角

	<p>形」、高度の測定の場合は「気圧高度計」。</p> <p>詳細は http://code.google.com/p/darwincore/wiki/MeasurementOrFact を参照のこと。</p> <p>バージョン： measurementMethod-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/measurementMethod</p>
測定の補 足事項	<p>測定または事実（MeasurementOrFact）に関するメモまたはコメント。</p> <p>例：「尾の先端は確認されない」。</p> <p>詳細は http://code.google.com/p/darwincore/wiki/MeasurementOrFact を参照のこと。</p> <p>バージョン： measurementRemarks-2009-04-24</p> <p>http://rs.tdwg.org/dwc/terms/measurementRemarks</p>